



▲平成24年度にエレベーター工事予定

## 6 播磨町駅にエレベーター設置は

町長 **A** 県・山電・町で協議している

**問** 町長の施政方針では、平成23年度・播磨町駅舎内エレベーターの設計費用の一部を補助し、同時に「バリアフリー構想」を策定すると述べられているが、その内容は、

**答** 兵庫県・山陽電鉄・播磨町でエレベーターの設置について継続して協議を行っている。23年度に設計、24年度は工事に向けて準備を始めている。バリアフリー構想は、駅を中心として、役場、公民館、公共施設もバリアフリー化する。

**問** 鉄道会社と自治体の事業費の負担割合は、

**答** 山陽電鉄・国が3分の1ずつ、県・町が6分の1ずつの負担である。



古川 美智子

公明党代表

### ○ 中学校給食の反応は

**町長** **おおむね好評を得ている**

**問** 平成21年度、給食費の滞納は小学生で19名、22年度は、中学生で3名（平成23年1月開始）、小学生で25名と多いようだが、不況の影響で今後同様の滞納が多く出てくるのでは、と危惧する。

**答** 国の方では昨年、子ども手当で、給食費の引き落としが議論されていたが、どうなるのか。町には就学援助制度もあるが、所得の低い家庭や、支払困難な家庭には事情を把握して補助するなど考えるべきでは。

**問** サービスには限度がある。すでに小学生では300人、中学生では1

### ○ 食育推進計画の具体策は

**教育長** **サポート隊が地域と連携**

**問** 施政方針では「家庭、学校園、地域が、役割と責任を分担し食育を推進」とあるが、具体策は、

**答** 蓮池っ子食育サポート隊を構成。県民局、蓮池校区の保育園・幼稚園・小学校・地域などと取り組んでいる。

50人ほど就学援助をしている。また現在、国の方針で子ども手当を支給している。親の責任として、子ども手当の優先順位をつけるべきと考える。なお、子ども手当からの徴収については、国の動向などを見ながら検討する。



▲先進地である東京都足立区の啓発資料

## 6 自殺防止対策の充実を

町長 **A** 重要な課題と認識



小原 健一

青雲21代表

### ○ 子宮頸がんの予防は

**問** 施政方針には、緊急課題である自殺防止対策に取り組みと記述がある。どのような計画か。

**答** 平成18年度に自殺対策基本法が制定され、平成22年2月の「いのちを守る自殺対策緊急プラン」では都道府県が市町村に必要な支援や情報提供を行うことになっている。今回は県の財政支援を受けて、啓発パンフレットを全戸に配布する。

**問** 来年度は、交付金を活用して事業を行うと聞いているが、財政支援終了後も継続して対策が必要な課題ではないか。

**答** 来年度以降にどれだけの予算を充てられるかわからないが、グループ間の連携を図りながら、引き続き対策を講じたい。

**町長** **家庭で話し合いを期待**

**問** このたび、子宮頸がん予防ワクチン接種の助成を実施するが、これを機会に子宮頸がんの予防へ向けて、啓発や検診の受診勧奨をより強く進めていくべきと考えるが。

**答** 対象者への個別通知では、子宮頸がん自体の知識や予防についての説明書も同封しており、家族で健康の大切さを話し合うことを促している。

### ○ 中学校給食の反応は

**教育長** **おおむね好評を得ている**

**問** この3学期からスタートした中学校給食に対して、生徒や保護者の反

応は、また、新たな課題は見つからないか。

**答** 生徒たちは、「皆で同じものを食べるのが楽しい」「温かくておいしい」などの感想であった。また、保護者の多くからは、実現できて良かったという声を頂いている。課題としては、一部生徒から量が少なかったという声を聞いている。

**問** 今後、新たな課題解決とより良い給食の実現を図るための協議の場はどこか。

**答** 教育委員会事務局と校長や食育担当教諭で構成する中学校給食実施準備会で、給食実施前から協議や調整を重ねてきており、今後も継続して課題解決に当たる。